

有成塾オープンセミナー

クライアントから信頼され長期関係を 築くコンサルタントを目指して



とき : 2022年5月18日(水)

ところ : 新宿アントレサロン

講師 : 亀岡 睿一

塾の目的と名称の意味

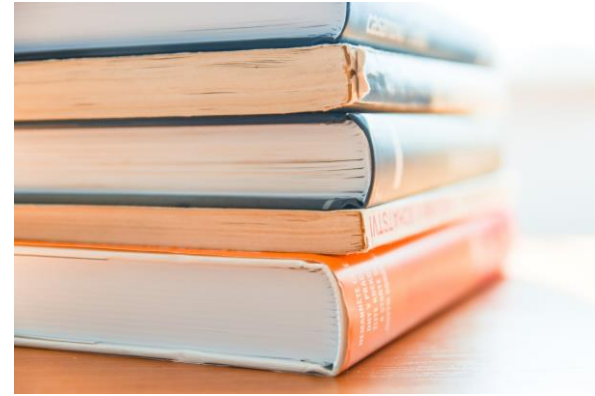
塾の目的

1. 診断士の安定した収入と豊かなコンサルタント人生の実現
 2. 長期支援により中小企業の成長・発展に貢献する
 3. 後輩たちがコンサルタントとして迷わず歩ける道を拓く
- 中小企業はただ提案し、どうぞあとはそちらでやってください（などの知識・情報提供型コンサル）のやり方では決して体質は変わらない。長い体験からいやというほどそれを感じている。
 - 中小企業トップはやろうにも一緒になってやってくれる人材がない寂しい存在だ。したがって右腕、時には左腕となって共に考え実行推進する信頼できるコンサルタントが欲しい。
 - 今でも悩んでいる。世の中には多くの立派なコンサルタントがいる。マスコミにもてはやされている彼らは特別なのか。
 - 私は多くの失敗を重ねてきた。確かにその失敗は貴重な体験であり、次の成長のためのステップにはなっている。
 - しかもっと優秀なコンサルタントならこんな失敗はしなくても済んだかもしれない。真の独立型コンサルタントとは何者なのか。今も考え悩み続けている。私は多くの企業を犠牲にし、踏み台にしてきた。その犠牲になった企業に感謝の念と報恩の気持ちでこの会を育てたいと考えている。

塾の名称に込められた意味

◆論語・子路第十三（孔子の言葉）から

子曰く「苟も我を用ふる者有らば、期月
のみにして可なり。
三年にして成ること有らん。」



◆原文 = 子曰、苟有用我者、期月而已可也。三年**有成**。

➡意味 = もし人があって我を用いて国政を授けるならば、1 2か月（期月）だけでは十分とはいかないが、わずかばかりの成績を上げることができる。三年たてば政治上の功績が完成するであろう。

➡1年間継続支援すればそれなりの成果を上げることができるが、三年かければ大きく企業の体質改善や業績向上に貢献するでしょう。

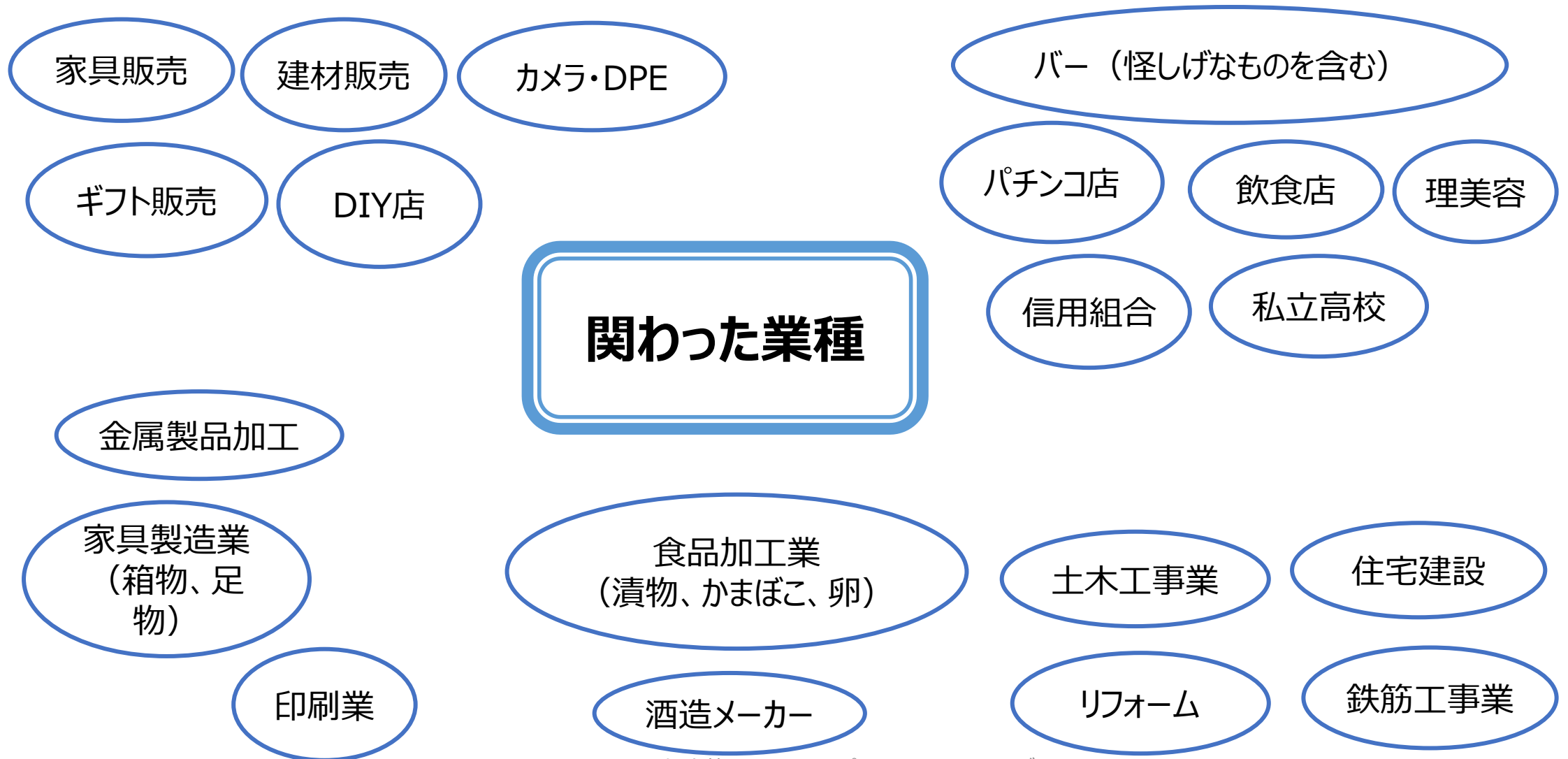
自己紹介

- 0歳 神奈川県川崎市生まれ（本籍は徳島県）
- 24歳 徳島大学工学部機械工学科卒（二年遊んだため卒業が遅れた）
沖電気子会社に就職。生産技術課配属。当時品質管理と実験
計画法大流行。大いに勉強させられた（今は忘れた）。
- 32歳 診断士合格
- 36歳 大手コンサルタント会社（九州＝西武本部）に入社
- 38歳 診断士更新せず資格失う
- 48歳 独立（個人コンサルタント）仙台
- 50歳 法人コンサルタント会社設立
- 51歳 慌てて診断士資格に再挑戦⇒なんとか合格！
- 56歳 社員8名の小さな会社だったが「ISO 9001」に挑戦。認定される。
- 65歳 会長職を退任。東京で再独立「あさひ経営」（個人）創立
- 78歳 千葉県柏市に移転 現在に至る



コンサルタント歴

支援先は約100社。年商規模は1億円～120億円



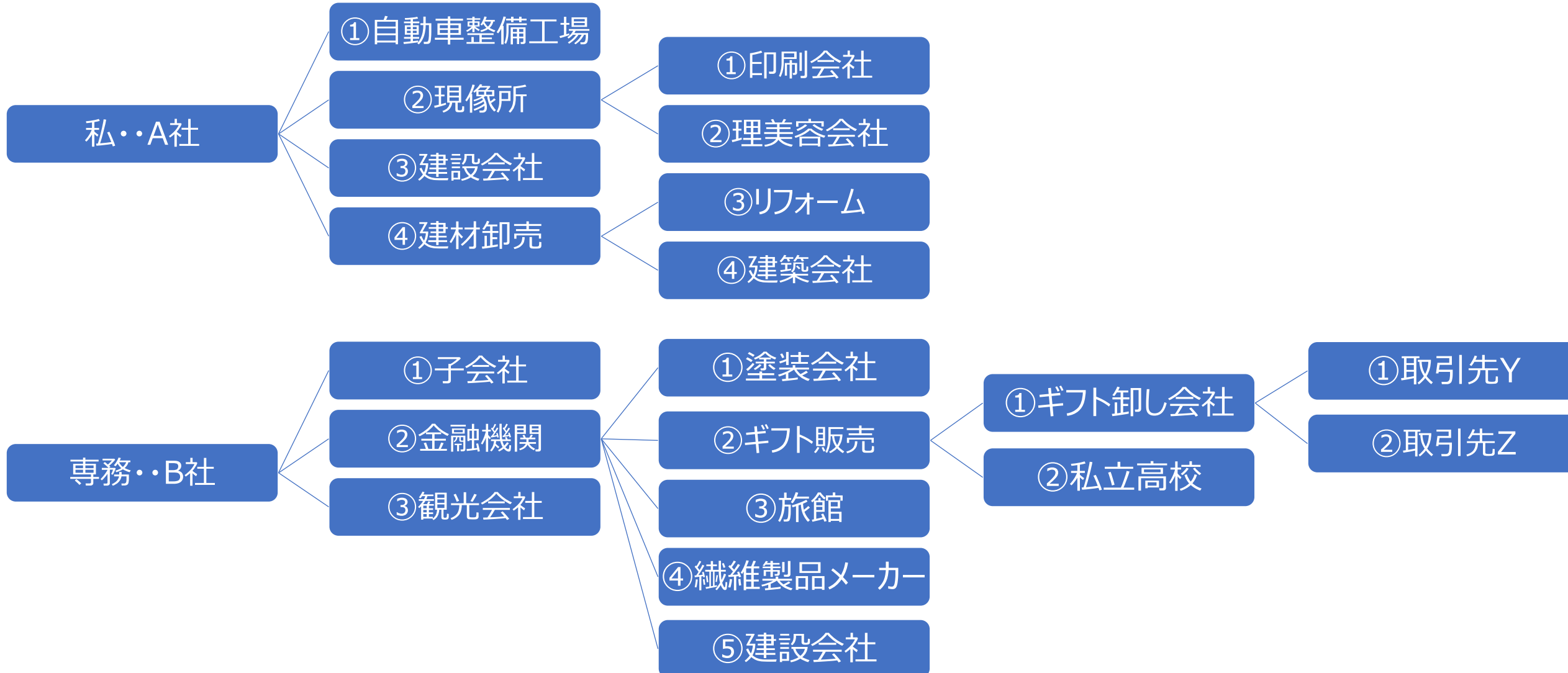
有成塾で学ぶこと

四つ

- (1) 受注の取り方（紹介の連鎖システム）
- (2) 長期経営支援のコツ（経営の中核に入りこめ）
 - * 長期とは少なくとも三年以上支援を続けること
- (3) 信頼されるコンサルタントの基本姿勢と行動
- (4) 中小企業の実態と業績を上げる経営の原理原則

受注の展開図（独立後の実績）

1部を紹介



受注の突破口

- 経営者は孤独だと言われるが本音で語れる相手が欲しい。
- のど元まで出かかっているこの想い。ぶちまけて思い切り語りたい。気分をすっきりさせたい！
- あるべき論など聞きたくない。
- 一生懸命聴いてくれる相手が
- 欲しいのだ。➡まず、聞く…
- ではなくて徹底的に「聴く」。
- すべてはここから始まる。
- ➡次回をお楽しみに！



最後に柳生家家訓

- 小才は縁に出会って 縁に気づかず
- 中才は縁に気づいて縁を生かさず
- 大才は袖すり合った縁をも生かす

お疲れさまでした！